

平成26年度の学校評価

本年度の 重点目標	①基本的な生活習慣や授業規律の確立 ②正しい職業観・勤労観の養成とキャリア教育の推進 ③生徒会活動の活性化 ④生徒の健康管理と環境整備 ⑤農業クラブ活動の躍進		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 （教務部）	①学校設定教科「基礎教養」の充実  ②授業規律の維持  ③授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の精選と充実を図り、より一層効果的な学習を図る。</li> <li>・授業態度報告書の活用により、授業に真剣に取り組む姿勢の醸成を図る。</li> <li>・授業遅刻や中抜けする生徒に対し入室許可証を発行し、授業規律に向けた姿勢の醸成を図る。</li> <li>・生徒向け授業アンケートに基づく授業評価自己点検表の提出、授業参観報告書の提出により授業態度を見直し授業改善を図るきっかけとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎教養が始まり、今年度で3年目となった。各学年で、生徒の実態に合わせて実施し、進路実現の一助となっている。</li> <li>・授業に取り組む姿勢がよくなり、不振科目を抱える生徒が減少しつつある。</li> <li>・生徒向け授業アンケートを実施することにより、良い点と悪い点を再発見することができた。その結果、今後の改善へと繋がった。</li> </ul>
生徒指導 （生徒指導部）	①基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間意識を向上させる。</li> <li>・正しい身だしなみの定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者数が学年によって差が出て、学年格差の改善が課題である。</li> <li>・制服の正しい着用に向けた指導を継続的に行ってきたが、大きな効果を上げられなかった。</li> </ul>
生徒会指導 （生徒会部）	①生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の活性化を図る。</li> <li>・各種学校行事の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々部活動が盛んになってきている。生徒がより自主的に活動できる体制が必要である。</li> <li>・体育祭、稲高祭共に昨年度より充実した内容となった。生徒が自主的に行事に向けて活躍できるようにしていくことが必要である。</li> </ul>
進路指導 （進路指導部）	①進路実現に向けた個別指導の充実  ②学年団、保護者との連携によりスムーズな進路実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者へは、社会情勢の現況や採用状況等の情報提供を行い、早い段階での内定獲得を目指す。特に女子生徒への対応をきめ細かく行う。</li> <li>・進学希望者へは、補習授業等を含め、普通教科の実力アップを目指す。</li> <li>・学年団へ進学・就職に関する情報をいち早く伝え、保護者・生徒に提供すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の1.5倍以上の求人件数があり、担任と連携して積極的な情報提供を行うことにより、就職希望者は男女ともに全員内定を得られた。</li> <li>・夏期休業中に11日間の補習を行い、参加生徒の基礎学力向上を図れた。希望する進路実現に向けた指導方法と生徒の意識改善の方策を検討したい。</li> <li>・学校設定科目「基礎教養Ⅱ」の実施を通じて、生徒の進路実現に向けて学年団と連携を図り、</li> </ul>

		により、進路先の状況を理解し、進路決定へと結びつける。	生徒の進路実現を図れた。
保健指導 (保健部)	① 歯科保健指導の充実  ② 情報交換を密にした教育相談活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生管理について、興味、関心を持たせる取り組みとして、外部講師などの活用も含め、広報活動を展開する。また、引き続き、粘り強く受診の督促を進める。</li> <li>・ 担任、養護教諭、カウンセラーの連携を追求する。それとともに、入学前の状況もふまえ、個別に支援を必要とする生徒への対応について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部講師との日程調整がうまくできず、実施できなかったのは残念であった。受診勧告は2回行った。特に2学期保護者懇談会の席で、担任より直接保護者に訴えかけてもらったのは効果が高かった。日常生活の中での習慣化に繋がる機会を動きを作っていく必要がある。</li> <li>・ 相談件数は、さほど多くはないが、変化があった場面ごとに、きめ細かく情報交換の小委員会を持ち、学校として組織的な対応ができていたと思われる。支援を必要とする生徒に、時期を外さずサポートできる態勢を引き続き模索していきたい。</li> </ul>
専門教育指導 (農場部)	① 農業クラブ活動の充実  ② 資格取得への取組の充実 ③ 安全な実験・実習の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県大会、東海大会、全国大会での入賞を目指す。</li> <li>・ 技術顕彰や資格取得の取得率向上を目指す。</li> <li>・ 安全な実験実習の展開を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト発表県大会、意見発表県大会で入賞（優秀）することができた。</li> <li>・ 全国大会農業鑑定競技会で優秀を4名が獲得した。</li> <li>・ 各種資格の取得率がやや低下した。</li> <li>・ 残念ながら、大きな事故も発生した。農業教科担当者会を開き、発生原因、今後の対策について会議を持った。</li> </ul>
総合評価	<p>学習面では、落ち着いた学習環境で学ぶ姿勢が定着してきた。その効果もあり、成績不振者の人数も減少しつつある。</p> <p>生徒指導面では、遅刻、身だしなみや交通マナー等、基本的な生活習慣の定着に向けて根気強い指導が必要である。</p> <p>進路指導面では、景気回復の影響もあり就職希望者は、ほぼ希望する進路決定ができた。進学では難関大学合格に向けた指導体制の見直しが課題である。</p> <p>学校行事や農業クラブ活動の特別活動面では、一定の成果を修めることができた。活動活性化のために、引き続き生徒自らの自主性の向上を期待したい。</p> <p>保健衛生面では、受診勧告書の回収状況が芳しくなく課題であった。2学期保護者懇談会でも再確認することにより回収率が上がった。今後も保護者も含めた健康意識への啓発が課題である。教育相談では、事例に応じた情報交換を行うことにより組織的な対応ができた。</p> <p>専門教育では、安全な実験・実習の展開を重点目標として安全に配慮した実験・実習中に取り組んできたが、残念ながら大きな事故が発生した。再発防止に向け、基礎基本に沿った教科指導の再確認を行った。</p> <p>今後とも、授業規律の確立や学習環境の整備、交通マナー、身だしなみの意識向上、進路指導の充実、特別活動に対する自主性の向上に向け努力をする。また、専門学習や実技を伴う教科・科目での安全配慮の徹底を図る。</p>		